

賀茂地域における大型ピーマンの青枯病対策 - 抵抗性台木の選定 -

賀茂地域の大型ピーマンの露地夏秋栽培では、生産が本格化する高温期に青枯病が発生し、減収の大きな要因となっています。当地域に適した青枯病抵抗性台木は…

‘スケットK’が有望です。



青枯病に罹病した大型ピーマン

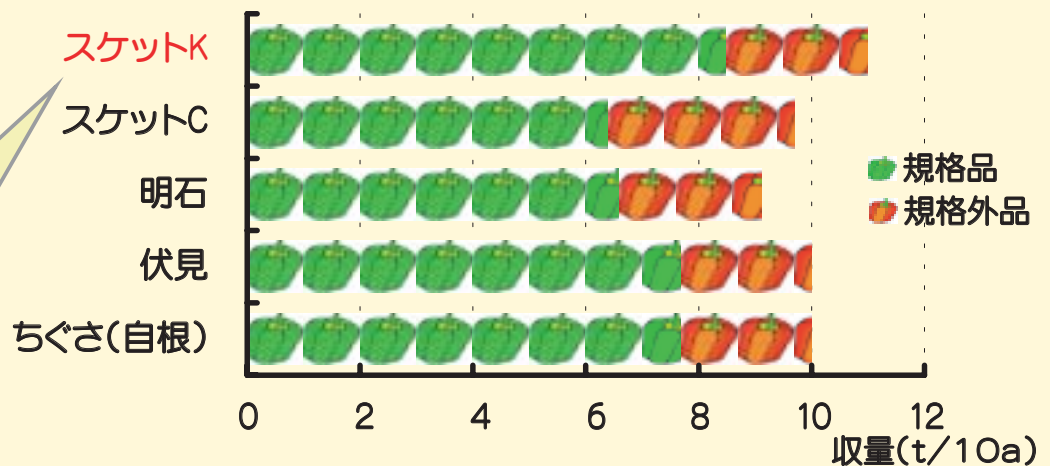
各台木における地区別の青枯病菌に対する罹病性(幼苗検定)

台木	各地区の青枯病菌による発病度		
	志和町	高屋町	福富町
スケットK	0	0	0
スケットC	25.0	0	0
明石	0	25.0	4.2
伏見	0	0	8.3
ちぐさ(自根)	33.3	33.3	20.8

幼苗検定では、**‘スケットK’**以外の台木は発病が見られました。

発病程度:0:発病なし,1:莖頂部にしおれ,2:葉にしおれ,3:株全体にしおれ,4:枯死
 発病度 = $\frac{\sum(\text{発病程度} \times \text{株数})}{(4 \times \text{株数})} \times 100$
 (例えば発病度100であれば全部が枯死した状態)

‘スケットK’を台木とした場合、‘ちぐさ’の自根より収量が多くなりました。



台木の違いが収量に及ぼす影響